

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221522073	公衆栄養学 I Public Nutrition I	小林 沙綾			2	必修	2後期
科目の概要							
<p>公衆栄養学は、地域や職域に属する社会集団の健康・栄養上の問題点を把握し、健康の保持・増進ならびに疾病予防を目的に人々の食生活課題を地域的活動により解決していく学問である。</p> <p>本科目では、DP3に記載があるように疾病・疾病予防・食育に関する専門的知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することで社会に貢献し、地域や職域の人々と協働して課題を解決できる管理栄養士の育成を目指す。具体的には、公衆栄養学概念ならびに公衆栄養活動の歴史を学んだ上で、わが国や諸外国における健康・栄養問題の現状と課題を把握するとともに、これらに応じた栄養施策について理解し、DP2・4の通りに自立した社会人としてのスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を得た上で、人々の日常生活を健康面から支援することのできる人材を育成する。</p>							
学修内容				到達目標			
① 公衆栄養学の概念について理解する。 ② 健康・栄養問題の現状と課題を理解する。 ③ 公衆栄養学に関連する法的基盤や法規に基づく施策の内容を理解する。				① 公衆栄養学の意義・目的について、授業内で獲得した知識や用語を活用して説明できる。 ② 健康・栄養上の問題について、その変遷や現状、今後の課題を把握（獲得）し、それぞれの事例を列挙（活用）できる。 ③ 公衆栄養に関連する法的基盤や、それらに対応する施策を列挙（獲得）できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標の達成に必要な知識の習得に向け、自発的に課題に取り組み、疑問点の解決につなげることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	より深い学びにつなげられるよう、自ら学習目標を立て、意欲的に学習に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	授業で生じた疑問点や課題の解決を目指し、自己学修により多くの知識の習得に励むことができる。					
	計画力						
	創造力	授業内で学習した理論や現状をふまえ、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	授業内で提示した課題について、自らの考えを他者にも分かりやすい表現にまとめることができる。					
	傾聴力	授業内容や他者の意見を丁寧に聞き、相手が伝えたい内容と自らの理解をすり合わせるすることができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動はせず、指示されたルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 公衆栄養学 公衆栄養活動の実践のための理論と展開 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 ／酒井徹・由田克士 編（医歯薬出版） 参考書：わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著（同文書院）							
他科目との関連、資格との関連							
「公衆栄養学I」は専門分野の「公衆栄養学」の科目の一部であり、「応用栄養学I」「栄養教育論I」をはじめとした科目で獲得した知識・技術を活用する。また、「公衆栄養学I」は、その後に履修する「公衆栄養学II」「公衆栄養学実習」などの基盤となる科目である。 資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭一種、食品衛生管理者・監視員							
学修上の助言				受講生とのルール			
学修する内容は、目の前の現実社会における課題と直結しています。それらが栄養・食生活とどのように関わるのか、身近な情報源（ニュース等）を見てみましょう。				公衆栄養活動の実践には多くの科目が関連します。これまでに学修した科目との関連性を意識しながら授業に臨んでください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	60	①	✓	<p>授業内で紹介した内容を理解し、正しい回答をできるか、また自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。テキスト、資料、ノート等は全て持込不可とする。</p> <p>【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(公衆栄養学の意義・目的、健康・栄養問題の現状と課題、栄養政策の知識)：80% 知識の活用(健康・栄養問題の現状と課題や栄養政策の事例を抽出できる)：10% 知識の解決(健康・栄養問題の現状と課題を解決するための具体案が提案できる)：10%</p>	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	15	①	✓	<p>前回の授業内容を理解できているかを確認するため、毎授業の冒頭に小テストを実施する。 ・選択問題等の形式にて出題する。 ・出題範囲は、前回の授業で学修した内容とする。 ・小テストは採点后返却するため、復習に活用すること。</p> <p>【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(公衆栄養学の意義・目的、健康・栄養問題の現状と課題、栄養政策の知識)：80% 知識の活用(健康・栄養問題の現状と課題や栄養政策の事例を抽出できる)：10% 知識の解決(健康・栄養問題の現状と課題を解決するための具体案が提案できる)：10%</p>
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	15	①	✓	<p>「評価基準表(ルーブリック)」を用いて、レポートを評価する。レポート作成に関する説明の際に「評価基準表(ルーブリック)」を掲示する。なお、提出期限までにレポートを提出しなかった場合は、当該評価配点は0点とする。</p> <p>【pisa型学力】獲得・活用・解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(公衆栄養学の意義・目的、健康・栄養問題の現状と課題、栄養政策の知識)：10% 知識の活用(健康・栄養問題の現状と課題や栄養政策の事例を抽出できる)：45% 知識の解決(健康・栄養問題の現状と課題を解決するための具体案が提案できる)：45%</p>
				②	✓	
				③	✓	
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	0	①		
				②		
				③		
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	<p>(主体性) 自発的に予習・復習に取り組むことができる。 (実行力) 自ら学習目標を立て、その達成のために努力できる。 (課題発見力) 授業で生じた疑問点や課題を自己学修により解決できる。 (創造力) 授業内容をふまえ、自らのアイデアを付加した意見を考えられる。 (発信力) 授業内で提示した課題について、自らの考えを他者にも分かりやすく述べることができる。 (傾聴力) 授業をよく聞き、内容を理解することができる。グループワークにおいて、相手の意見を丁寧に聞き、相手が伝えたい内容と自らの理解をすり合わせるすることができる。 (規律性) 欠席、遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動はせず、指示されたルールを守ることができる。また、課題の提出期限を守ることができる。</p>	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>公衆栄養学の概念、健康や栄養に関わる現状、公衆栄養に関する法規と施策についての知識を理解したうえで、それを活用して課題に取り組むことができる。「S」の場合には、今後の公衆栄養に資する法的及び制度的枠組みの提案をすることができる。</p>	<p>公衆栄養学の概念、健康や栄養に関わる現状、公衆栄養に関する法規と施策についての知識を理解し、重要事項の用語を述べることができる。さらに「B」の場合には、学んだ事項に対する自身の解釈を述べるることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	0. イントロダクション 1. 公衆栄養学の概念 (第1回) 1-1. 公衆栄養学とは?	講義 グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養学Iの大まかな学修スケジュールについて説明できる。 公衆栄養学の意義・目的について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる。	(予習) 本科目のシラバスを読んでおく。 教科書p1-5に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
2	1. 公衆栄養の概念 (第2回) 1-2. 公衆栄養活動の概要	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	公衆栄養学活動について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる。	(予習) 教科書p5-15に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	創造力 傾聴力
3	2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第1回) 2-1. 少子高齢化における健康・栄養問題	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	少子高齢化がもたらす健康・栄養上の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp17-23に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
4	2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第2回) 2-2. 食を取り巻く環境の変化	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	健康・栄養問題の変化について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp23-33に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
5	2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第3回) 2-3. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	諸外国の健康・栄養問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp33-37に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	発信力 傾聴力
6	3. 栄養政策 (第1回) 3-1. 健康づくり政策と公衆栄養活動	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	我が国の栄養政策と公衆栄養関連法規について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp39-42に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	主体性 実行力
7	3. 栄養政策 (第2回) 3-2. 公衆栄養関連の法律	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	我が国の栄養政策と公衆栄養関連法規について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp42-48に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
8	3. 栄養政策 (第3回) 3-3. 管理栄養士・栄養士制度と職業倫理	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	管理栄養士・栄養士制度について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。 管理栄養士・栄養士の職業倫理について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp48-53に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	3. 栄養政策 (第4回) 3-4. 行政・関連する組織の連携	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	地域における行政の役割について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp53-60に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
10	3. 栄養政策 (第5回) 3-5. 我が国の健康づくり政策①	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	我が国の国民健康づくり運動と食育推進に関する取り組みの現状について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp60-71に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
11	3. 栄養政策 (第6回) 3-6. 我が国の健康づくり政策②	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsならびにGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	特定健康診査・特定保健指導について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp71-80に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	主体性 課題発見力
12	3. 栄養政策 (第7回) 3-7. 我が国の健康づくり政策③	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	我が国の食環境整備について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。 健康づくりのための指針・ツールについて、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp80-93に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	主体性 課題発見力
13	3. 栄養政策 (第8回) 3-8. 国民健康・栄養調査	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	国民健康・栄養調査について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp94-101に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	主体性 発信力
14	3. 栄養政策 (第9回) 3-9. 我が国の食料需給	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	我が国の食料需給について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp102-106に目を通す。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える。	180	課題発見力 傾聴力
15	3. 栄養政策 (第10回) 3-10. 諸外国の健康・栄養施策	小テスト(Google Forms) 講義(小テストの解説を含む) グループワーク、ディスカッション 資料の配布 (Google Classroom) 課題の提出、質問対応 (Google FormsまたはGoogleドキュメント) Notebook LMを用いた振り返り	国際栄養について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる。	(予習) 教科書のp106-116に目を通す(今までの学修内容を復習する)。 (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力